

PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

株式会社プレミアムウォーターホールディングス
東証スタンダード：2588

2024年11月7日（木）





PREMIUM WATER
HOLDINGS

目次

- 経営理念・競争優位性・今後の展開
- 2025年3月期 第2四半期 業績
- Appendix
 - (1) 会社概要・事業内容
 - (2) SDGsへの取組み



PREMIUM WATER
HOLDINGS

経営理念

競争優位性

今後の展開



VISION

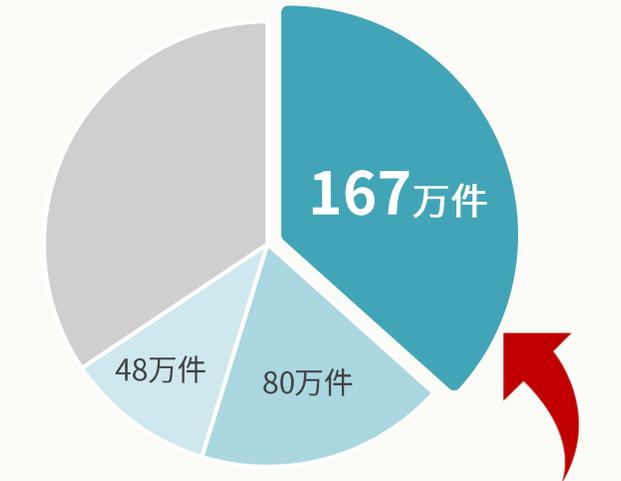
自社の活動を通じて人々の生活を豊かに
そして**世界で一番愛される会社へ**

MISSION

日本の天然水という唯一無二の価値を日本人に
そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、地方創生を実現する

天然水という差別化が難しい商品で、No.1の市場シェア。競争優位を構築・維持する3つのポイント。

宅配水市場顧客数 **No.1**
業界シェア **32.0%**



- プレミアムウォーターホールディングス
- A社
- B社
- その他

※日本流通産業新聞2024年1月11日号より当社作成

1 業界No.1の8水源（うち自社工場3ヶ所）

月間**約500万本**（約250万顧客相当）の生産能力を誇り、岐阜北方工場の竣工により、生産能力・生産効率が向上。



2 業界No.1の顧客獲得力

約1,200名以上の営業員が、全国で日々セールス・マーケティング活動を実施。



3 自社物流網の構築で効率的な提供

エリアごとの顧客数純増、定期配送により、十分な物量確保ができることから**配送の効率化を実現**。





業界シェアNo.1の顧客基盤構築に一定成果 → 組織最適化の利益拡大フェーズへ

創業～FY2024 基盤構築フェーズ

安定的な物流や生産体制の構築

顧客基盤の構築

マーケットポジションの確立

FY2024以降 利益拡大フェーズ

施策①

自社物流網の活用と
自社工場の稼働率増進による
コスト削減

自社物流比率を約7年間で51.5%まで拡大。地域によって大手配送業者とも提携し、今後は利益追求へ向け適正な比率を維持。加えて、自社工場の増設や設備完備により、販管費・製造原価も削減。

施策②

メーカー特化型戦略による
顧客満足度向上を実現

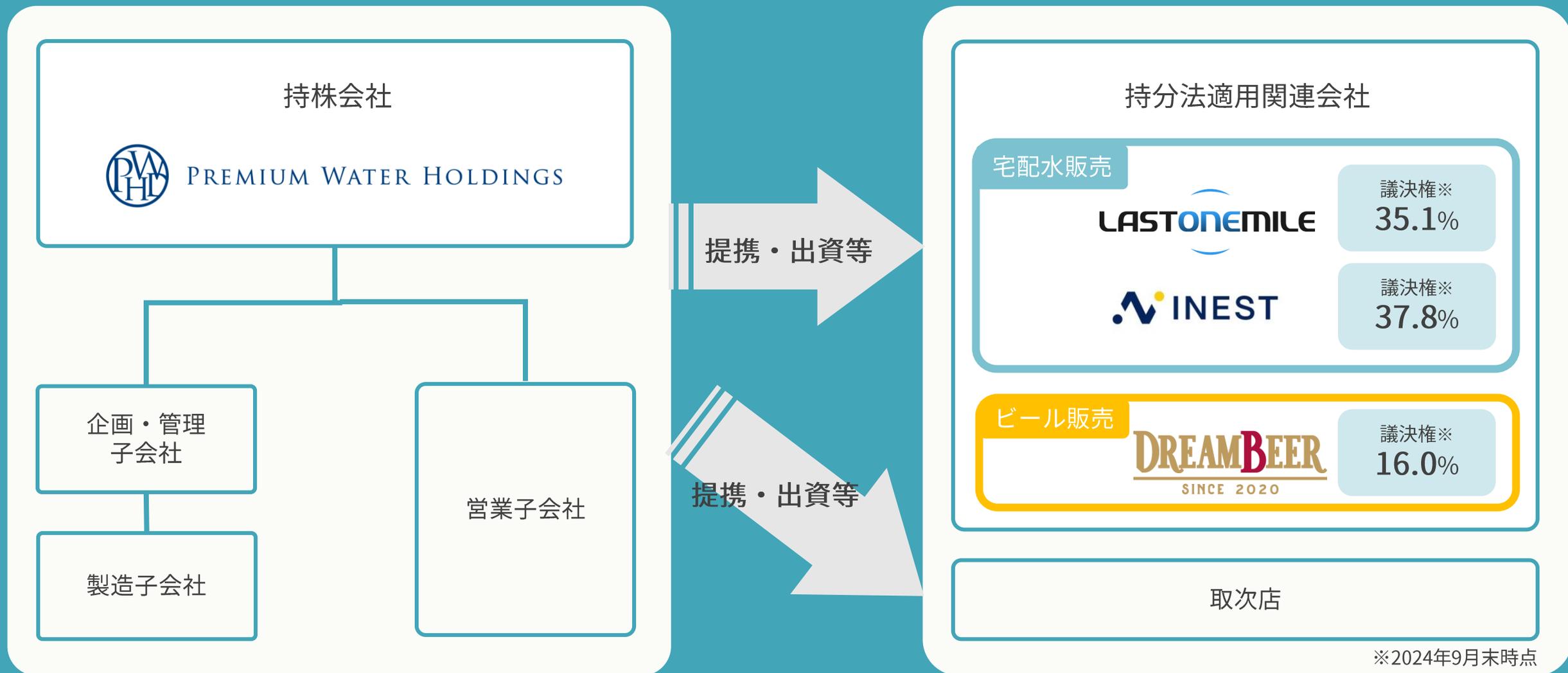
メーカーに特化した事業運営を行い、契約期間の長期化や付帯サービスの充実化等により、利益追求とユーザビリティの向上を狙う。さらに良質なサーバーを開発することで、付加価値を生み出し、顧客満足度を高める方針。

施策③

M&Aや出資による
利益の向上

OEM供給やM&Aを実施し、当社の営業ノウハウを活かして大幅に顧客数を増やし、利益拡大へ。また、主軸である天然水事業に注力しながらも、その他事業にも出資することにより、グループシナジーを生み出す。

効率的な製造・配送体制を構築しつつ、営業力強化への投資にも注力していく方針。





PREMIUM WATER
HOLDINGS

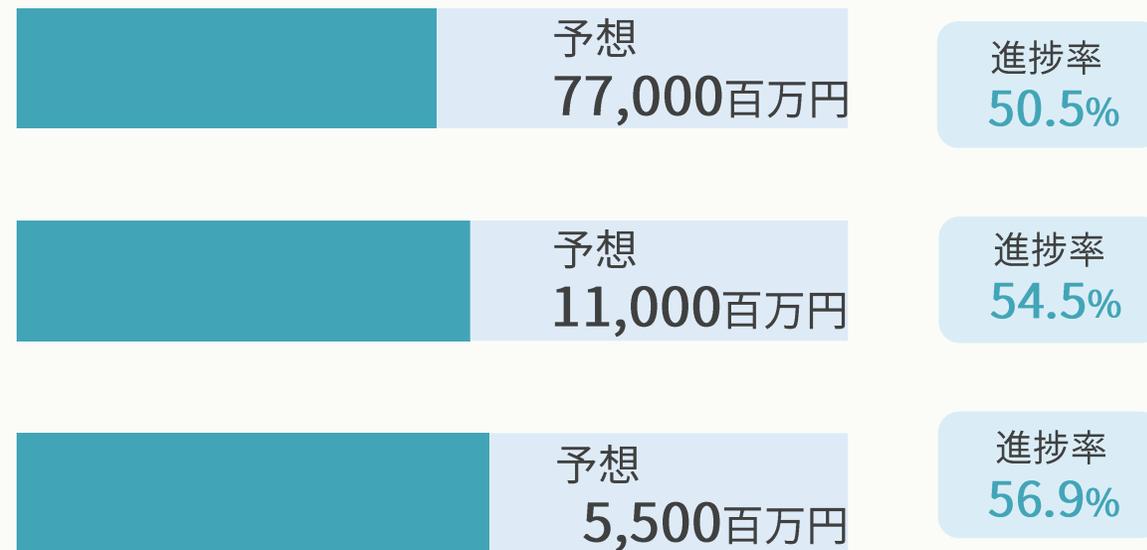
業績ハイライト

前期第3四半期に実施した営業子会社の株式譲渡の影響で、モバイル事業に係る売上が減少しているものの、顧客獲得、製造及び物流に係るコスト効率化により、営業利益は前年同期比**155.4%**達成。

●第2四半期累計期間（4～9月）



●通期業績予想（修正後）に対する進捗





1

新商品のリリース

新ウォーターサーバー「AURA」の提供開始。

2

共同配送の実施

コクヨサプライロジスティクス（株）との共同配送を開始。



2024年9月、新ウォーターサーバー「AURA Water Server」を新導入。

出水量と温度帯を自由に選べる、高機能モデルを開発。[※]



※温水：約85℃、冷水：約6℃、常温水：約25℃、白湯：約60℃、加熱：約90℃

POINT

新機能搭載！温冷水に加え白湯や常温水の通常出水、ワンタッチで200ml・1ℓの定量／連続出水が可能に！

● 新商品開発による製品の強化

「ボトル下置き型ウォーターサーバー」の新機種・新デザインをリリース。2024年度グッドデザイン賞を受賞。

● ウォーターサーバーの差別化でリプレイス対策

他社へのリプレイス対策として顧客ニーズに沿った改良を実施し、解約率の低減化を目指す。

● 保有顧客の純増

業界をけん引するメーカーとして品質向上に努めるほか、注目を集めることで市場全体や新規顧客の潜在ニーズも掘り起こし、更なる保有顧客数の増加を図る。





物流コスト高騰の中、提携先企業と当社とで共同配送を実施し、物流の効率化とコスト削減を目指す。
「2024年問題」をはじめとした社会課題の解決への貢献を目指し、環境負荷の低減化を図る。

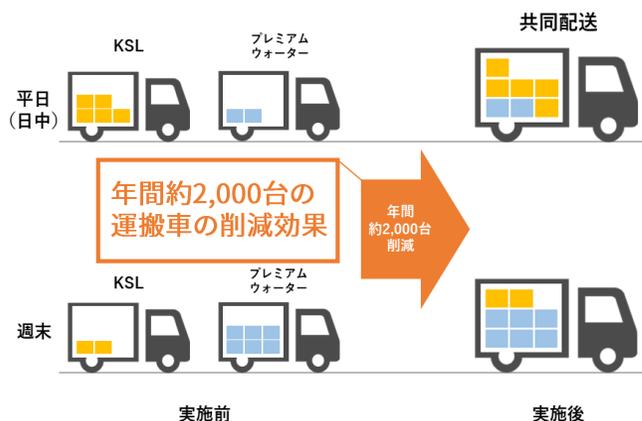
KOKUYO コクヨサプライロジスティクス株式会社



PREMIUM WATER

HighQuality Water Delivery Service

◆効果のイメージ図



主な取組み

- 2023年12月、江崎グリコ（株）ら3社と、グリーン物流パートナーシップ優良事業者 特別賞を受賞。
- 2024年8月、コクヨサプライロジスティクス（株）との共同配送を開始。



PREMIUM WATER
HOLDINGS

2025年3月期 第2四半期 業績



顧客獲得、製造及び物流に係るコスト効率化が想定を上回ったため、2024年5月9日公表の「2025年3月期連結業績予想」より上方修正を行い、営業利益・当期利益の増加の見込み。それに伴い、年間配当金も増配予想。

(百万円)

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想（修正前）	2024年3月期 通期予想（修正後）	修正後 前期比
売上収益	80,578	77,000	77,000	95.6%
営業利益	9,436	9,700	11,000	116.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	5,777	4,700	5,500	95.2%
(円)				
年間配当金	80.00	90.00	95.00	—

(百万円)

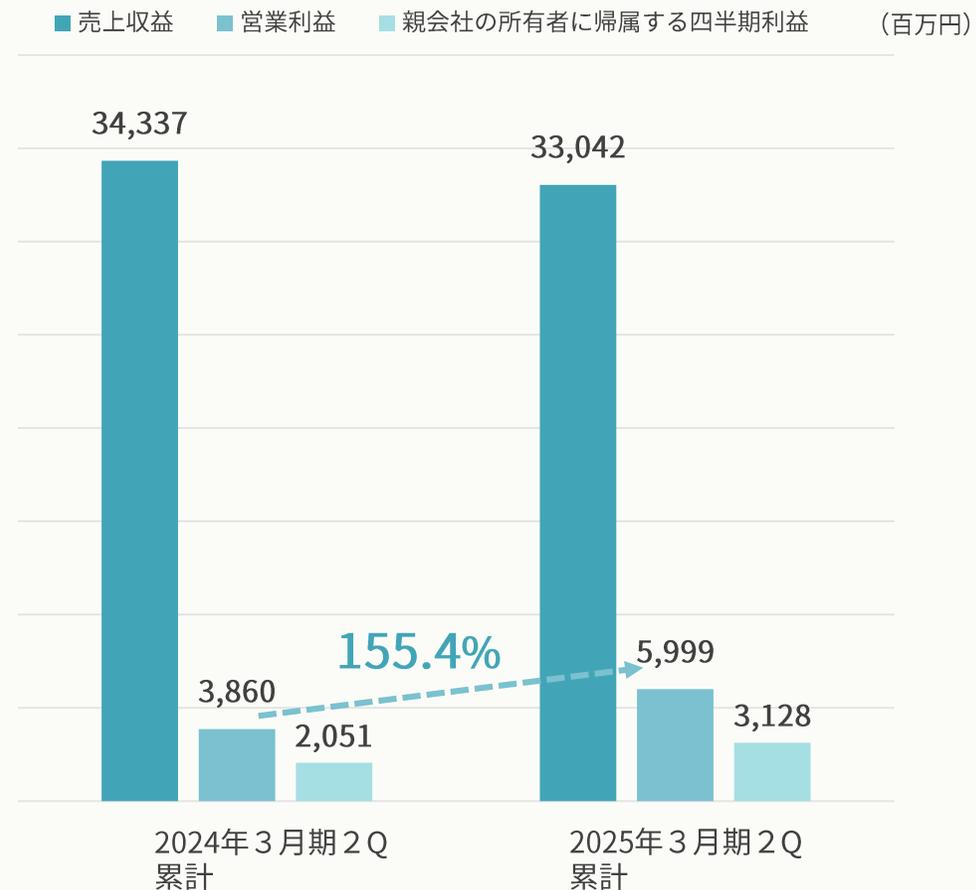
	2025年3月期 通期予想（修正後）	2025年3月期 第2四半期累計実績	進捗率
売上収益	77,000	38,911	50.5%
営業利益	11,000	5,999	54.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	5,500	3,128	56.9%



前期に実施した営業子会社の株式譲渡の影響で、モバイル事業に係る売上が減少しているものの、ウォーターサーバー事業は堅調に推移。各種コスト効率化により、営業利益は前年同期比**155.4%**達成。

(百万円)

	2024年3月期 第2四半期 累計期間	2025年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上収益	41,513	38,911	93.7%
売上総利益	34,337	33,042	96.2%
営業利益	3,860	5,999	155.4%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	2,051	3,128	152.5%
E B I T D A (営業利益+減価償却費)	9,061	11,959	132.0%

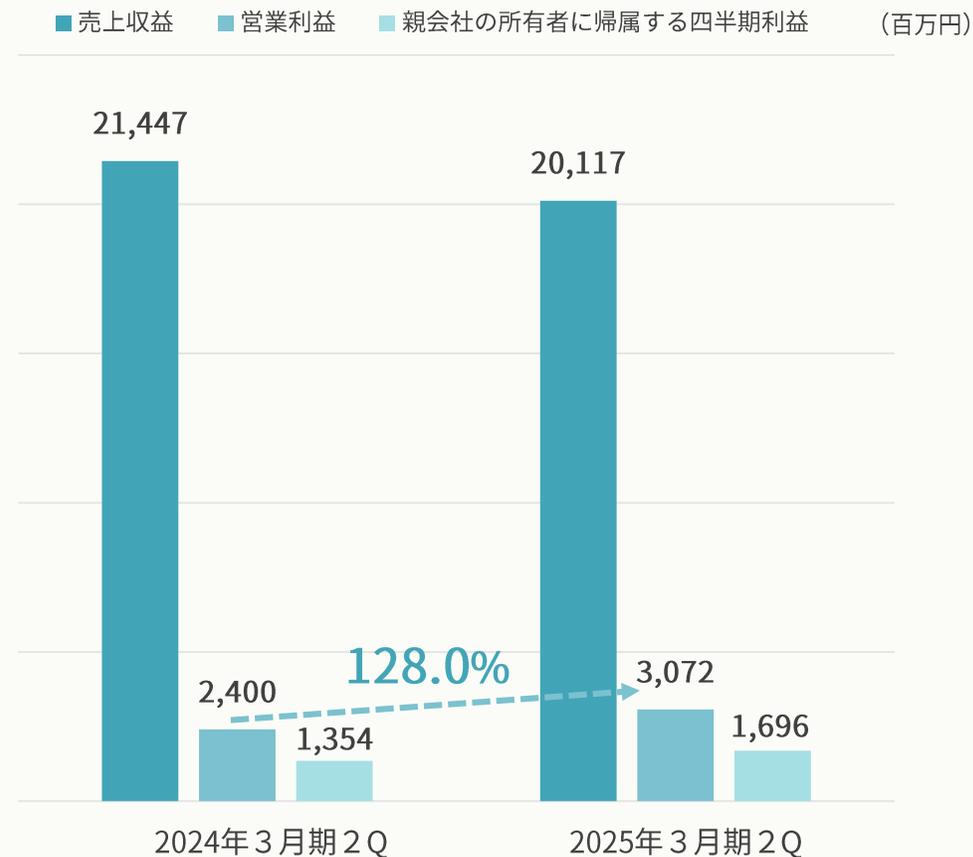




岐阜北方工場本格稼働開始に伴い、製造単価の低減化が進んだこと等により、営業利益は前年同期比**128.0%の3,072百万円**となった。

(百万円)

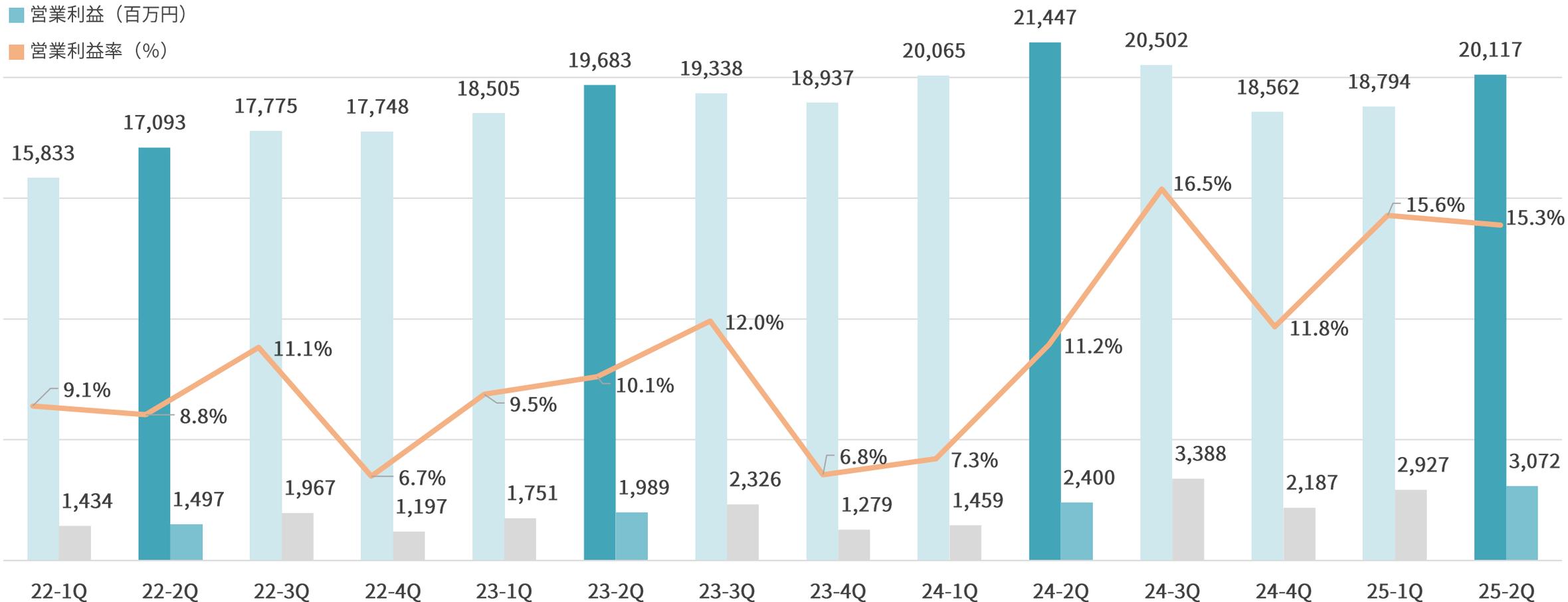
	2024年3月期 第2四半期 会計期間	2025年3月期 第2四半期 会計期間	前年同期比
売上収益	21,447	20,117	93.8%
売上総利益	17,508	17,126	97.8%
営業利益	2,400	3,072	128.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,354	1,696	125.2%
E B I T D A (営業利益+減価償却費)	5,029	6,088	121.0%





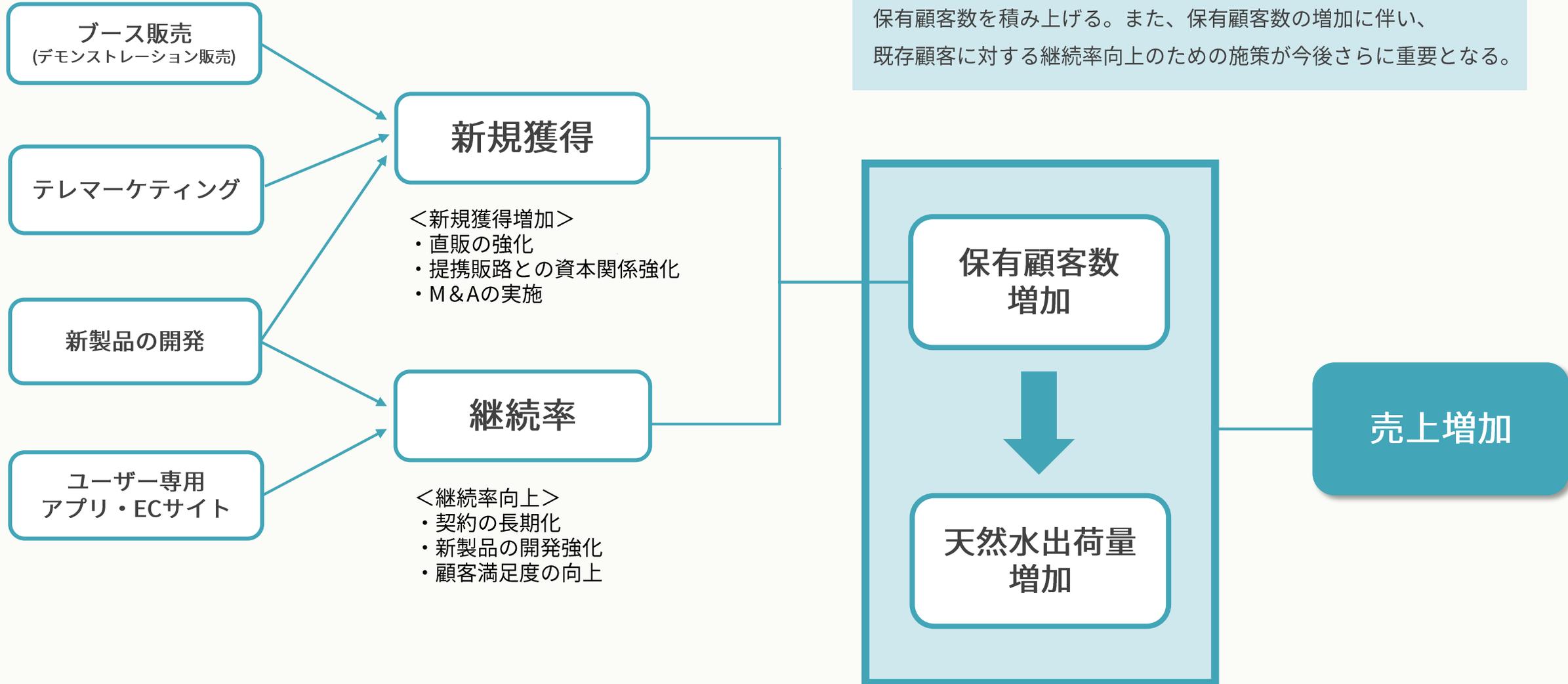
売上収益・営業利益の推移

- 売上収益 (百万円)
- 営業利益 (百万円)
- 営業利益率 (%)



毎期4Qは取次店等に対する手数料の支払いにより、1~3Qと比べると営業利益・営業利益率ともに減少

《特殊要因》
営業子会社の株式譲渡による利益：797百万円



新規顧客獲得に加え、既存顧客の継続率を向上させることにより保有顧客数を積み上げる。また、保有顧客数の増加に伴い、既存顧客に対する継続率向上のための施策が今後さらに重要となる。

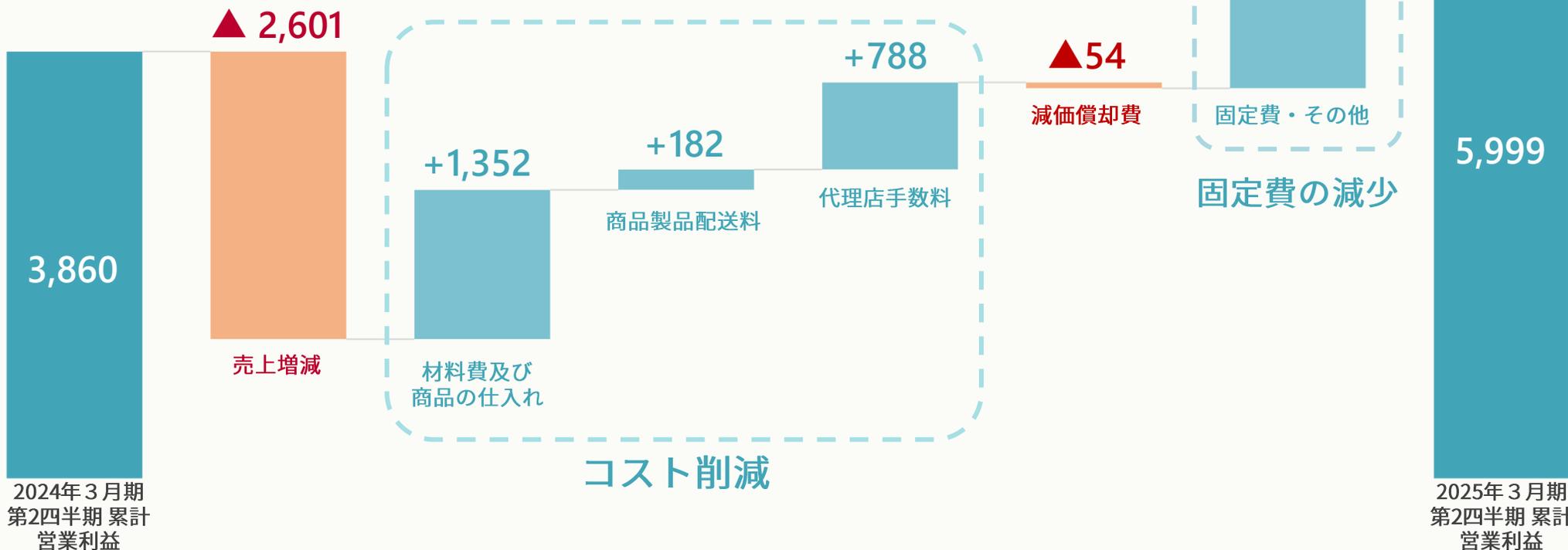


顧客獲得コストの効率化、岐阜北方工場本格稼働開始に伴う製造単価の低減、物流コストの上昇抑制等の実現により、営業利益は前年同期と比べて大幅に増加。

(百万円)

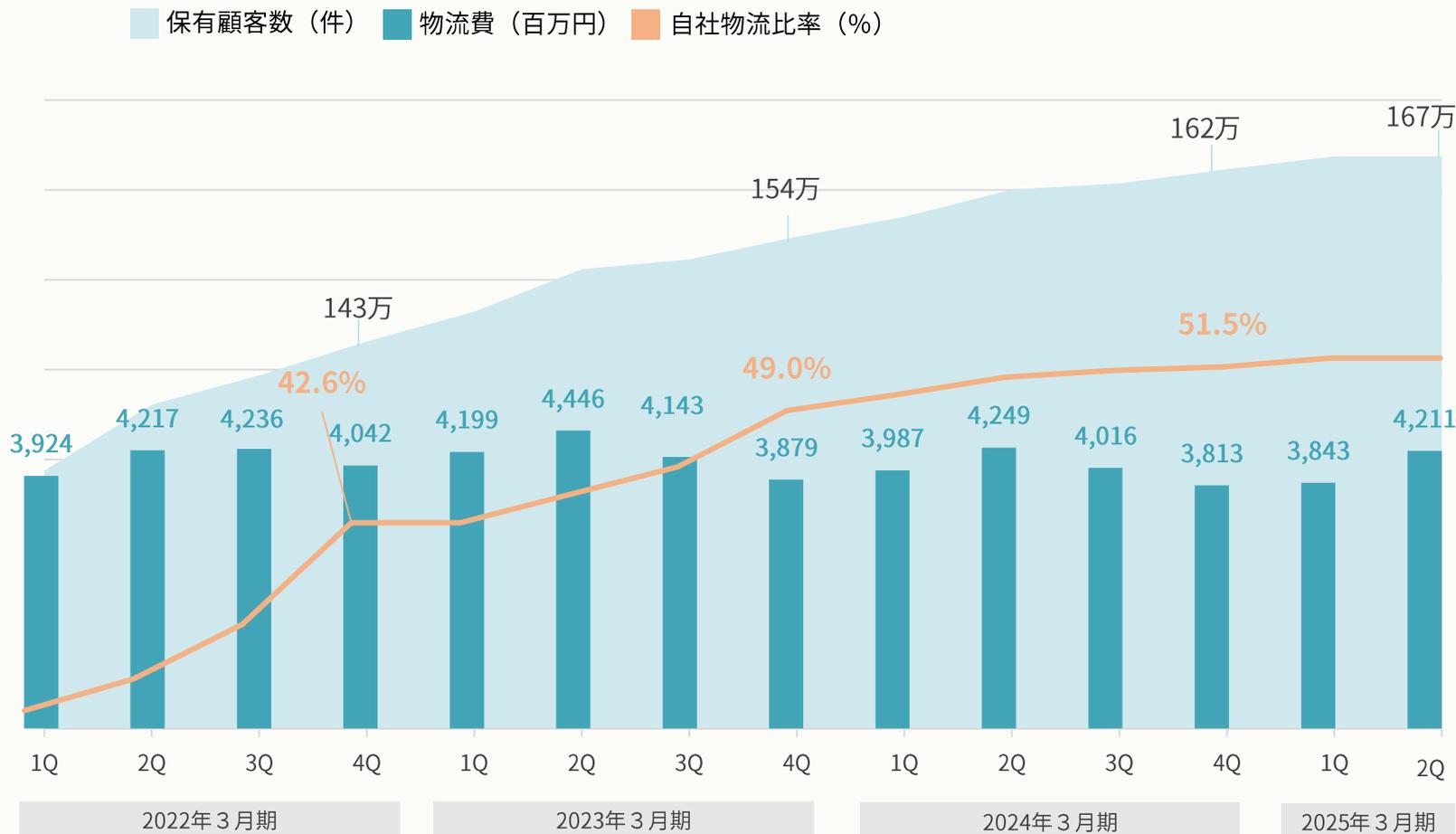
《Point》

子会社の株式譲渡による固定費削減に加え、岐阜北方工場稼働開始に伴い、天然水の製造単価の低減化が可能となった。





2024年物流問題 働き方改革関連法等による物流コストの上昇を抑えるため、自社物流[※]比率の最適な水準を維持。保有顧客数に伴い物流量は増加するも、物流コストの上昇抑制を実現。



自社物流[※]比率

2019年3月期 18.7%

2024年3月期 51.5%

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー



関連会社との取引に係る未実現利益消去等の影響により、持分法による投資損益はマイナス。
商戦期として顧客獲得に注力し、PWHDグループ全体としての収益効率化フェーズとなった。

(百万円)

	2024年3月期 第2四半期累計期間	2025年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比
営業利益	3,860	5,999	2,139	155.4%
金融収益+金融費用	▲441	▲400	40	—
持分法による投資損益	▲170	▲560	▲390	—
税引前中間利益	3,248	5,038	1,789	155.1%
法人所得税費用	▲1,197	▲1,911	▲713	—
非支配持分	0.0	1.0	0.0	0.0%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	2,051	3,128	1,077	152.5%



新規顧客獲得に伴うウォーターサーバー調達のため、リース債務の計上による有利子負債が増加。

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期	増減
流動資産	44,801	43,091	▲1,710
現金及び現金同等物	30,561	27,669	▲2,892
営業債権及びその他の債権	11,064	12,170	1,106
棚卸資産	1,108	1,241	132
その他	2,065	2,009	▲56
非流動資産	54,605	60,015	5,410
有形固定資産	29,503	31,389	1,886
無形資産	2,637	2,872	234
契約コスト	11,480	12,407	927
その他	10,984	13,346	2,361
総資産	99,406	103,106	3,700

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期	増減
負債	76,636	78,834	2,197
流動負債	28,256	30,214	1,957
営業債務及びその他の債務	14,545	15,970	1,424
有利子負債	11,458	12,026	568
その他	2,253	2,217	▲35
非流動負債	48,379	48,620	240
有利子負債	48,036	48,211	175
その他	343	408	65
資本	22,770	24,272	1,502
株主資本	22,753	24,256	1,503
その他	16	15	▲1
負債及び資本合計	99,406	103,106	3,700

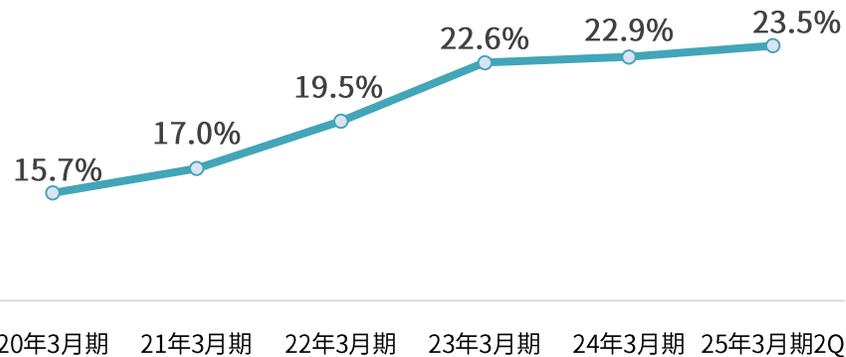
(百万円)

	2024年3月期 第2四半期累計期間	2025年3月期 第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,357	10,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,354	▲6,457
フリー・キャッシュ・フロー	13,711	3,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲12,377	▲6,671
現金及び現金同等物の期末残高	27,097	27,669



自己資本比率は引き続き、20%を超え推移。流動比率も安定して120%超を維持。

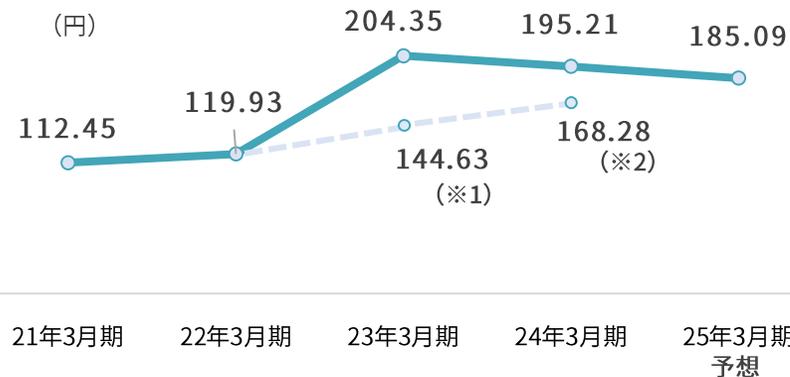
● 自己資本比率



● 流動比率



● 基本的1株当たり当期利益 (EPS)



ROE **23.4%** (2025年3月末予想)

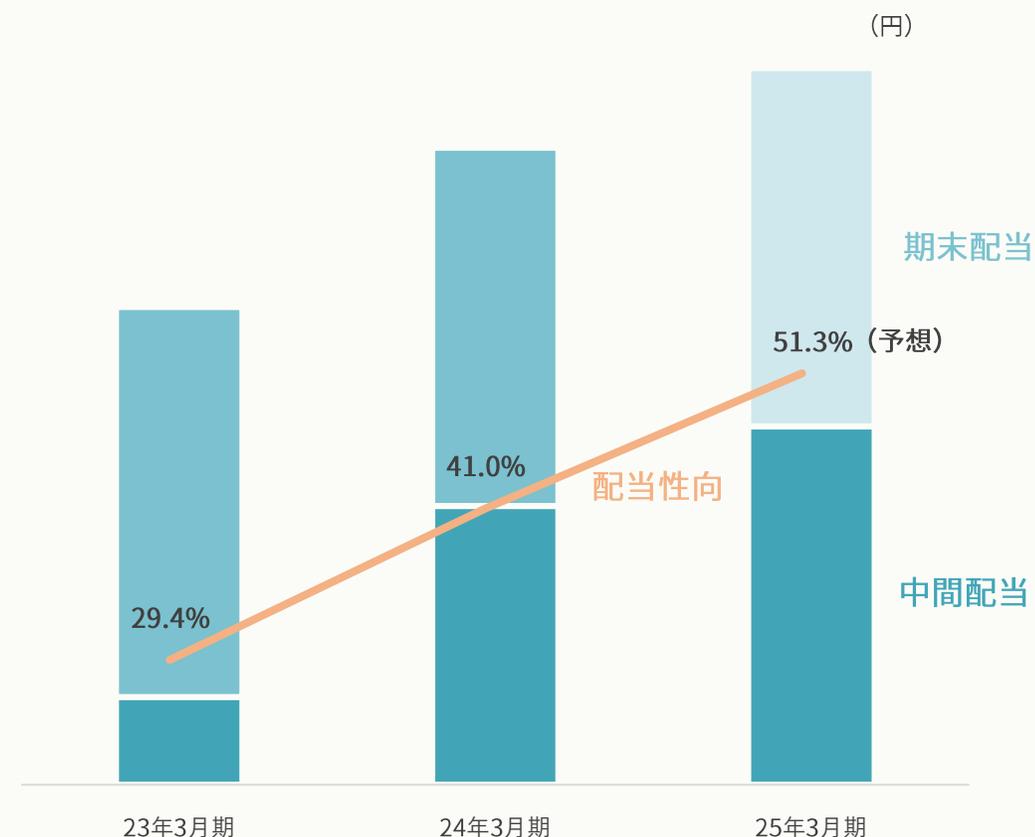
ROA **5.3%** (2025年3月末予想)

※1 2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。

※2 2024年3月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。

配当に関しては、内部留保や成長投資とのバランスを考慮しながら安定的な増配を継続する方針。
業績予想の修正に伴い、期末配当予想を50円に増配し、年間配当金の予想は95円。

	(円)		
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
中間配当 (基準日：9月末日)	11.00	35.00	45.00
期末配当 (基準日：3月末日)	49.00	45.00	(50.00)
合計	60.00	80.00	(95.00)





PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

(1) 会社概要・事業内容



会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
設立	2006年10月13日
所在地	<東京本社> 東京都渋谷区神宮前1-23-26 神宮前123ビル5階 <本店> 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
代表者	代表取締役社長 金本 彰彦
従業員数	848名（役員、臨時従業員含まない） ※2024年3月31日現在
資本金	4,721百万円 ※2024年9月30日現在
事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの 宅配事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
主要なグループ会社	プレミアムウォーター株式会社 プレミアムウォータープロダクツ株式会社 株式会社LUXURY 株式会社PWリソース 株式会社ライフセレクト SINGAPORE FLC PTE.LTD

各地の水源から採水したナチュラルミネラルウォーター（天然水）をワンウェイ方式で宅配するホーム・オフィス・デリバリーを主な事業として展開しています。

日本各地の採水地

全国8ヶ所（自社工場3ヶ所を含む）から天然水を採水



宅配便で定期配送

2本1セットで配送
→ 税込3,974円（1,987円/本）

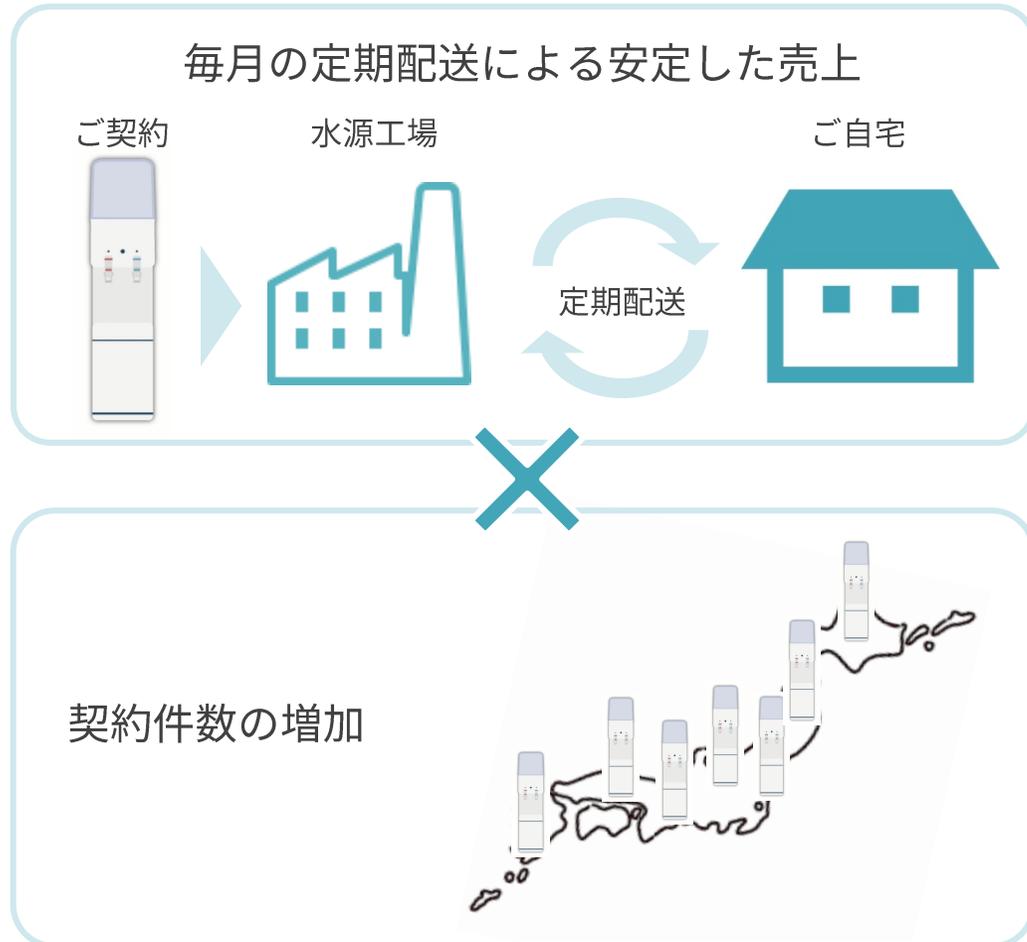


ご家庭へお届け

ご希望の配送日を指定してお届け
ペットボトル容器は家庭から資源ごみとしてリサイクル

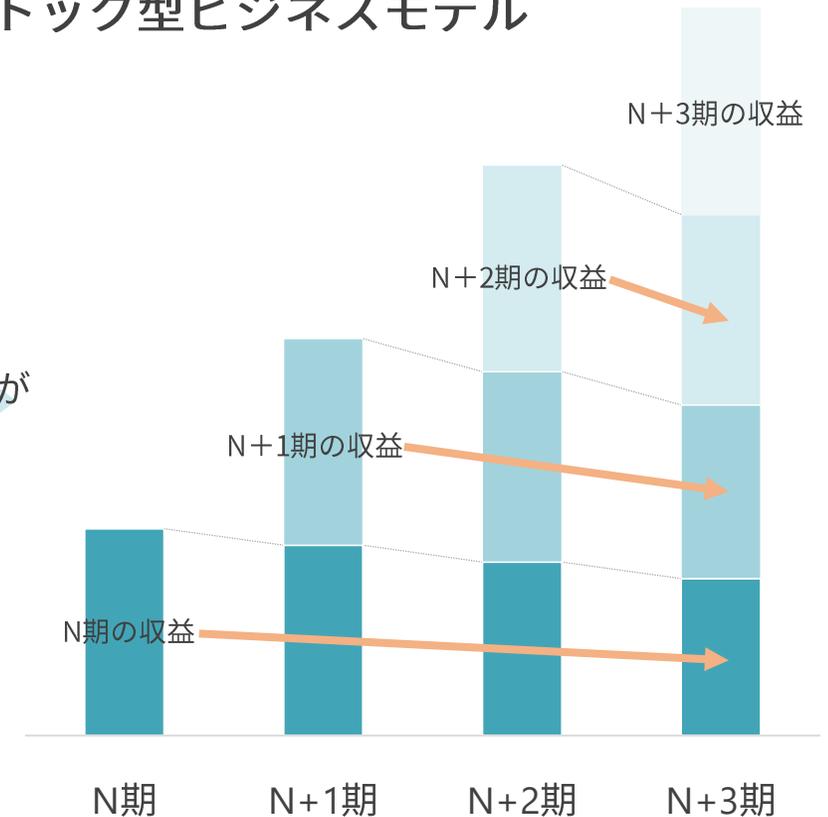


顧客の増加により確実に収益増加が見込める、安定性の高いビジネスモデル。



顧客1件あたりの獲得コストが一定水準であれば

ストック型ビジネスモデル





PREMIUM WATER
HOLDINGS

Appendix

(2) SDGsへの取組み

こども食堂へのお米寄付



貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

小学校での出張授業



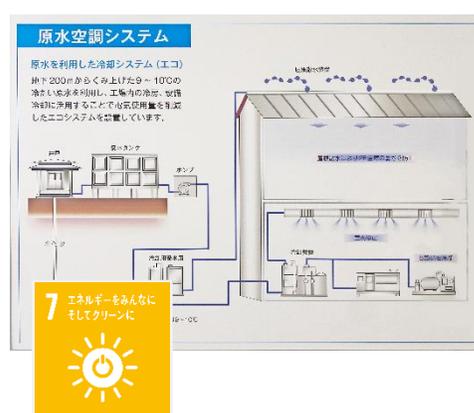
小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

災害時の支援・復興サポート



山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。他にも、西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、熊本地震における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等を行い、「令和6年能登半島地震」においても、被災地支援を行っています。

地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた9度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

安心安全のナチュラルミネラルウォーター



同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

PETボトルの軽量化



PETボトルの構造を変更し、従来より20%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルに順次入れ替え、2020年4月現在全水源の97%で軽量化を実施済みです。

公平な人事制度・ジェンダー平等への取り組み



人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

森林整備活動（西桂地区）



地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



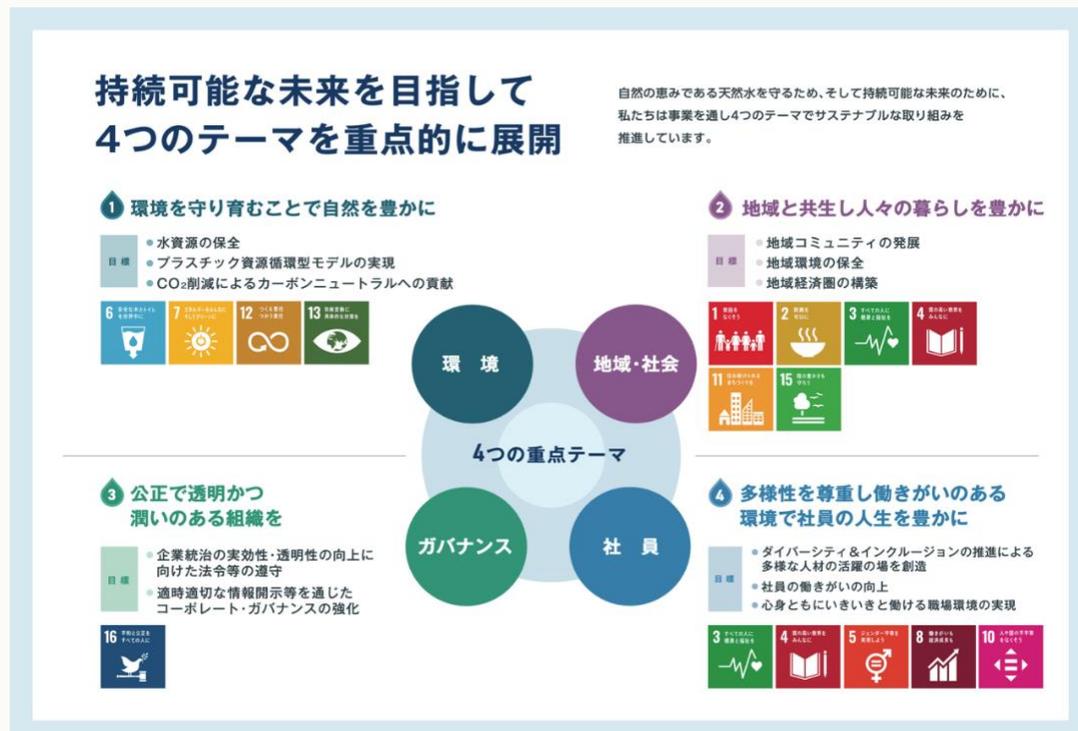
サステナビリティレポート公開のお知らせ

当社グループのサステナビリティに関する取り組みや活動を、より多くのステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に、当社ウェブサイトにて「サステナビリティレポート2024」を公開中です。

ESG（環境・社会・ガバナンス）の項目別に構成し、これまで実施した取り組みと持続可能な社会に貢献するための具体的なアクションを中心にご紹介しております。本レポートでは「CO2排出量のScope3算定結果」や「お客様への防災啓蒙活動」、「ダイバーシティ推進に向けた取り組み」等、最新の情報を追加しております。是非、ご覧ください。

「サステナビリティレポート2024」
<https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/img/report/ssr2024.pdf>

当社ウェブサイトのサステナビリティページ
<https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/>





1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER
HOLDINGS